



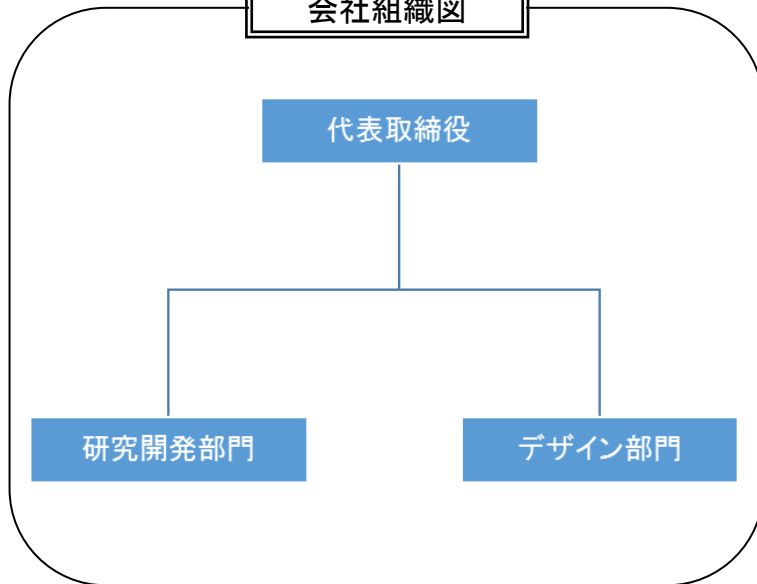
ATINDE

企業概要

企業名 : 株式会社 ATINDE (アティンデ)
 設立年月日 : 2016年7月5日
 所在地 : 〒824-0034 福岡県行橋市泉中央3-4-9
 TEL 050-1572-6304
 Email info@atinde.com
 URL http://www.atinde.com
 資本金 : 100万円
 年商 :
 従業員 : 2名
 代表者 : 久木元伸如
 主要取引先 :
 自動車関連の実績 : 有(製品 :)
 過去に実績有(製品 :)
 無

交通アクセス : JR九州南行橋駅から徒歩15分

会社組織図



生産性を高めるために、コミュニケーションをVR/ARで拡張！

経営理念

先端技術をわかりやすく、使いやすく、ニーズに合わせてデザインしてお客様とともに新たな価値を創造する

品質目標

今後、次々と現れる製造業向けVR/ARを中心とした新技術を精査し、九州の自動車産業の発展に寄与する情報と技術を提供する

改善目標

提案システムに関しては次の項目について改善を行う

- ・ユーザのタスク成功率を100%にする
- ・作業時間を短縮
- ・利用頻度を上げる
- ・システム利用の習得時間を減少
- ・また使いたい、と思ってもらえるルック＆フィールの構築

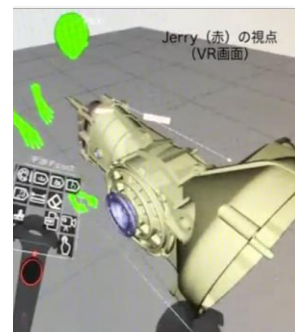
VR/ARで実現するスマートなものづくり

VR/AR技術の活用はゲームなどのエンタテインメント系から製造業に代表される産業分野でも広がり始めています。「実物を見なければ分からないもの」を映像空間にリアルに表現することで、従来の設計レビューで見落とされていた問題の発見や、工数やコスト、品質などを大幅に改善できます。VR/ARは実感的な理解と迅速な意思決定を促す効果的な設計支援ツールであり、また、モックアップやダミーモデルの削減により期間・費用の低減や環境にも優しいソリューションとして注目されています。ATINDEは設計・製造から保守まで、ものづくりに関わる一連の工程におけるVR/AR等の活用をトータルで支援いたします。

バーチャルデザインレビュー

CADデータを利活用してVR空間で設計レビューを支援

- ・実寸大でCADデータを表示できるので直観的に形状を把握
- ・モックアップが不要となり試作工程の削減や開発期間を短縮
- ・複数人もしくは遠隔からのコラボレーションが可能
- ・VR表示のために手間のかかるCADデータの変換は不要
- ・VR空間にテキストメモ、音声メモを保存可能
- ・図面やドキュメントをVR空間に表示可能



HoloGarage

実空間に様々な情報を重ね合わせ業務効率を改善

- ・点検項目等を実空間に重畳表示させて人的ミスを防止
- ・点検項目のトレーサビリティや作業過程を記録させてサービス品質の均一化
- ・新人の現場作業員へ手順ガイドを表示させて教育期間を短縮
- ・遠隔からのサポートや熟練者の動きを教示し次世代へ技能継承

※お客様のニーズに合わせて受託開発いたします



ATINDEはVR/ARを活用して課題解決を支援いたします

Before このような課題に遭遇したことはありませんか

1. 構想設計、詳細設計レビュー時の検討不足で手戻りが発生する。
2. 他部署間でのすり合わせのときに お互いの理解に齟齬が生じる。
3. 製造の段階で作業姿勢に無理があることがわかり作業効率が低下する。
4. 厚いマニュアルを都度みながら作業するので効率が悪い。
5. 各部品品の干渉チェックを事前に実施したい。
6. 若手作業員の教育にコストがかかる。
7. 設計レビューや会議のために出張が多い。
8. これまでの経験を活かした設計レビューを行いたい。
9. VR空間への3Dデータ表示だけでは前後の工程と連携を取れない。

After VR/ARの導入で様々な効果が期待されます。

1. 設計初期段階からVRを活用することで、繰り返して検証を行えます。
2. 複数ユーザがVR空間でCADデータを同時に直感的レビューできるので、相互の理解が高まります。
3. VR空間で作業姿勢を確認しシミュレートすることで、無理のない作業方法の検討を行えます。
4. 実空間に図面や手順をAR表示させることでマニュアル等を見ながら両手を使うことができます。
5. A社とB社の異なるフォーマットのCADデータでも一つのVR空間で組み合わせることができます。
6. 熟練者の動きの動画提示や、遠隔からリアルタイムで現場に即した指導を行えます。
7. VR空間で設計レビューや3Dモックアップの確認が行えるので、出張の回数を減らせます。
8. VR空間に過去の失敗例など多種多様な情報を提示することで、作業員へアドバイスしながらシミュレーションできます。
9. VR空間へのメモ機能や作業手順の記録など、これまでの紙ベースの報告書に加えて、新たなコミュニケーションツールとしてVR/ARを活用できます。

特徴・強み(セールスポイント)

設計・検証から保守や教育まで様々な工程で”使える”VR/ARを提案させていただきます。まずはお気軽にご相談ください。